

北陸視察

内閣総理大臣 小泉純一郎



輪島市の石川県輪島漆芸美術館で作品を鑑賞する小泉総理

小泉純一郎です。
先週末、石川県の能登半島と金沢、そして富山県の高岡市を訪ねました。

三年前の一月、もつとたくさんの方が外国から日本を訪れるようになって欲しい、日本をもつと多くの外国人が訪れたいような国にしたい、そういう思いで、「二〇一〇年までに日本を訪れる外国人を倍増させる」という目標を打ち出しました。

以来、「任んでよし、訪れてよしの国づくり」ということで、全国各地の観光地で頑張っている方々を「観光カリスマ」としてお祝いし、「一地域一観光」などを進めてもらっています。

日本には、歴史や伝統、文化、自然など、魅力的なところがたくさんあります。こういうところをわかりやすく紹介すれば、日本人にも外国人にも楽しんでもらえるのではないかと。フランスのシラク大統領もそう言っていました。

この思いを昨年、河合隼雄文化庁長官に話し、早速、全国の旅の好きな人などから、これはいいですよというおすすめの旅を公募し、いろいろと提案してもらったところ、八〇〇件近いアイデアが寄せられた。その中からよいものを選んで「わたしの旅一〇〇選」と題して文化庁が紹介している。いつか是非、私自身も訪ねてみたいものだと思っていました。



高岡市の山町筋重要伝統的建造物群保存地区の皆さんと記念撮影

今回の訪問することができました。旅のはじめは輪島市。能登空港ができたおかげで、東京から直行便を利用して一時間半ほどで行くことができました。市内で、世界に誇る輪島塗とキリコというお祭りにかつぐ巨大な灯籠を視察。陶器のことを英語で「チャイナ」ということは知っていましたが、漆や漆器を「ジャパン」ということは知りませんでした。日本の漆芸、日本の文化、たいしたものですね。

たいものだと思っていました。今回は、その中でも大賞に選ばれたところを中心に、訪問することができました。

石川県・富山県下視察日程

訪問先

2006年5月20日(土)

- キリコ会館①
- 石川県輪島漆芸美術館②
- 白米の千枚田③
- 和倉温泉④

2006年5月21日(日)

- 石川近代文学館⑤
- 金沢城公園・兼六園⑥
- 九谷光仙窯⑦
- 長町武家屋敷跡⑧
- 高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区⑨
- 高岡市伏木北前船資料館⑩



輪島市白米の千枚田を視察する小泉総理

勉強になりました。

そして、以前から見てみたかった白米町の千枚田、日本の棚田百選にも選ばれているところなんです。日本海に面した急斜面に、地形に沿って階段状に見事に整備された一〇〇枚以上の田んぼ。小さなものはたたみ半畳分ぐらいしかありません。その一枚一枚に水が引かれ、青々とした苗が植えられている。田んぼにはオタマジャクシが泳ぎ、タニシもいる。久しぶりに見た懐かしい景色に、なんだか嬉しくなりました。

景観の美しさもさることながら、急な斜面でもあきらめず、苦勞して田んぼを切り開いた先人たちの努力に頭が下がりました。現在は四軒の農家が耕しているようですが、大変な作業だと思えます。こういう美しいものを私たちは守っていかなければならないと思えました。

その晩は、全国から温泉客を集めている和倉温泉で一泊。最近はいわゆる観光客も多い湾からの観光客も多いです。温泉につかり、輪島塗の素晴らしい器に盛られた海の幸を堪能することができました。

翌日は、金沢に移動し、旧制四高の校舎だった赤煉瓦の建物にある近代文学館で、学生時代ここで柔道に明け暮れたという井上靖の作品に思いをはせ、兼六園、武家屋敷跡、九谷焼の窯元をまわりました。

高岡市では、土蔵造りの町家、そして江戸時代に北海道と北陸、関西などの間を結び昆布や反物、米などを運んだ北前船の廻船問屋の屋敷など、歴史的な建物や街並みを視察しました。

今回は、いずれも駆け足で見えてしまっただけでしたが、見所は盛りだくさん。日本には、観光資源がいっぱい眠っていると実感しました。

日本中、それぞれの地域にそれぞれいいところがあります。もつとPRすべきところがたくさんあります。日本の歴史や伝統、文化、自然を大切にしながら、日本人にも外国人にも楽しめ、そして地域振興の役に立つ街づくりを考えていただきたいと思えます。

「街づくりで大切なのは、女性にやさしく、高齢者に安全で、そして外国人にわかりやすいこと」とおっしゃるのは、木村尚三郎先生。私も、美しく、やさしく、安全で、わかりやすい国づくりを進めたいと思います。

(小泉内閣メールマガジン第235号「北陸視察」より)